

令和7年度 第69回関東高等学校弓道大会実施要項

- 1 主 催 関東高等学校体育連盟、山梨県教育委員会
- 2 主 管 関東高等学校体育連盟弓道専門部、山梨県高等学校体育連盟
山梨県弓道連盟
- 3 後 援 公益財団法人山梨県スポーツ協会、(公財)全日本弓道連盟、関東地域弓道連盟連合会
甲府市、甲府市教育委員会、笛吹市、笛吹市教育委員会
- 4 期 日 開 会 式 令和7年6月6日(金)
競 技 令和7年6月7日(土)～8日(日)
- 5 会 場 受 付 小瀬スポーツ公園武道館コンコース
公式練習 小瀬スポーツ公園武道館アリーナ
競 技 小瀬スポーツ公園武道館アリーナ
所在地：〒400-0836 山梨県甲府市小瀬町840番地
電 話：055-243-3111

6 引率・監督

- (1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。
引率責任者は選手のすべての行動に対し、責任を負うものとする。
- (2) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は都県高体連会長に事前に届け出ること。
- (3) 監督・コーチ等は校長の認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。但し、各都県における規定が定められ、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

7 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2) 選手は、各都県高等学校体育連盟加盟校の生徒で、当該専門部に登録し、当該競技要項により参加の資格を得たものに限る。
- (3) 年齢は2006年4月2日以降に生まれたものとする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 以下の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。

ア 部員不足に伴う合同チーム

(都道府県高等学校体育連盟会長により予選会から参加が認められた場合)

詳細は、(公財)全国高等学校体育連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規定」と専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」による。

※弓道競技は部員不足に伴う複数校合同チームの対象外とする。

イ 統廃合対象校による合同チーム(統廃合完了前2年間に限る)

- (6) 転校(転籍)後6ヶ月未満のものは参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。但し、一家転居等やむを得ない場合は、各都県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長及び所属高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8) 関東高等学校体育大会参加資格の特例
- ア 上記(1)及び(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、都県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
- イ 上記(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア 関東高等学校体育連盟の目的を理解し、それを尊重すること。
 - イ 参加を希望する専修学校及び各種学校にあつては、学齢・修学年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあつては、都県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、関東大会への出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 関東高等学校体育大会開催基準要項を厳守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

(9) 関東高等学校体育大会参加制限〔外国人留学生の出場枠について〕

- ア 学校教育法第1条に規定する高等学校卒業を目的として入学している生徒であること。
- イ 在籍校が、都県高等学校体育連盟に加盟していること。
- ウ 年齢は2006年4月2日以降に生まれたものとする。
- エ 短期留学は除く。
- オ 人数については、1人までとする。(6人エントリーのおおむね20%以内)

8 参加制限

- (1) 各都県とも、団体競技は男女とも3校、個人競技は男女とも5人以内の出場とする。
- (2) 団体競技は、監督1名、選手5名、補欠1名とする。
- (3) 個人競技は、監督1名、選手1名とする。

9 参加料 団体競技 1チーム 30,000円
個人競技 1名 3,000円

※大会が中止になった場合は必要経費を差し引いた額を返金する。

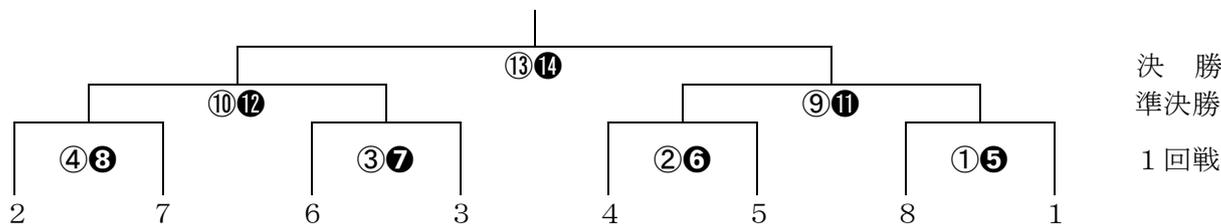
10 日 程 6月6日 (金)	8 : 15	開場	
	10 : 30 ~ 12 : 00	代表者会議	第1会議室
	13 : 00 ~ 14 : 00	審判会議 (射場)	第1会議室
	14 : 40 ~ 15 : 30	監督会議	第1会議室
	16 : 00 ~ 16 : 30	開会式	アリーナ
6月7日 (土)	8 : 00	開場	
	8 : 30 ~	練習会場開放	
	8 : 40 ~	召集開始	
	9 : 00 ~	審判会議 (技能)	
	9 : 00 ~	個人予選 (女子・男子)	2射場
	10 : 20 ~	団体予選1回目 (女子・男子)	2射場
	13 : 40 ~	個人準決勝 (女子・男子)	2射場
	14 : 20 ~	個人決勝・順位決定戦 (女子・男子)	2射場
	15 : 40 ~	個人表彰式	
6月8日 (日)	8 : 00	開場	
	8 : 20 ~	練習会場開放	
	9 : 00 ~	団体予選2回目 (女子・男子)	2射場
	12 : 10 ~	団体決勝トーナメント進出競射	2射場
	12 : 40 ~	団体戦決勝トーナメント	
		女子1回戦・男子1回戦	2射場
		女子準決勝・男子準決勝	2射場
		女子決勝・男子決勝	2射場
	15 : 40 ~	表彰式・閉会式	アリーナ

※競技日程は目安であり、進行状況に応じて時間を繰り上げることもある。

11 競技方法

- (1) 競技の種目・種別・種類及び規格は次のとおりである。
 - ア 種目は近的競技とする。
 - イ 種別は女子の部・男子の部とする。
 - ウ 種類は団体競技・個人競技とする。
- (2) 競技は震的 (36 cm) を用い、射距離28mとする。
- (3) 団体予選は1団体40射 (各自4射、2回) を行い、的中順に男女各8チームを通過とする。同中の場合は競射を行う。
- (4) 団体決勝はトーナメント方式をもって、1試合20射 (各自4射) を行う。なお、3位は2チームとする。決勝トーナメントの組み合わせは、的中数上位チームよりシードとし、同中の場合は立順が早いチームを上位とする。

* 競射による決勝進出チームが複数ある場合も、立順の早いチームを上位とする。



※丸数字は何試合目かを意味し、白丸数字は男子・黒丸数字は女子を意味する。

- (5) 個人競技は予選、準決勝、決勝を行う。予選は各自4射を行い3中以上の的中をもって通過とする。準決勝は各自4射を行い3中以上の的中をもって通過とする。決勝は射詰競射により順位を決定する。5射目から直径24cm星的使用する。的中を失った場合は、最上位者を決定する場合に限り射詰競射を継続して行い、その他の順位は遠近競射法により決定する。射詰競射の9射目は替矢を使用する。
- (6) 行射は、個人予選および団体予選は立射で行い、それ以外は坐射で行う。
- (7) 団体競技の行射制限時間は立射の場合7分とし、6分30秒で予鈴、7分で本鈴を鳴らす。坐射の場合8分とし、7分30秒で予鈴、8分で本鈴を鳴らす。本鈴後 (同時を含

む)に射離された矢は無効とする。なお、個人競技の立では制限時間を設けない。

12 競技規則及び技能審査規定

(公財)全国高等学校体育連盟弓道競技規則、関東高等学校弓道大会競技規則及び弓道採点競技規則による。

13 表彰

- (1) 団体は男女3位まで表彰する。(3位・4位決定戦は行わない)
- (2) 個人は男女8位まで表彰する。(決勝進出者が8名に満たない場合は決勝進出者数を表彰)
- (3) 競技において、技能優秀と認められた団体は男女各2校以内、個人男女各3名以内を表彰する。

14 申込方法

- (1) 当該校長の責任において所定の様式により定められた期限までに申し込むものとする。
- (2) 各都県委員長は、規定の申込書(宿泊は除く)に参加料(振込票の写し)を添えて、5月20日(火)必着で提出する。
- (3) 申込先 令和7年度関東高等学校弓道大会事務局
〒400-0845 山梨県甲府市上今井町300番地
甲府市立甲府商業高等学校 中沢 友二 宛
- (4) 参加料振込先
金融機関名 : 山梨中央銀行
店 名 : 吉田支店 店番501
口座番号 : 普通 1915914
口座名義 : 山梨県高体連弓道専門部 代表 中沢友二

※ 個人情報の取り扱いについて

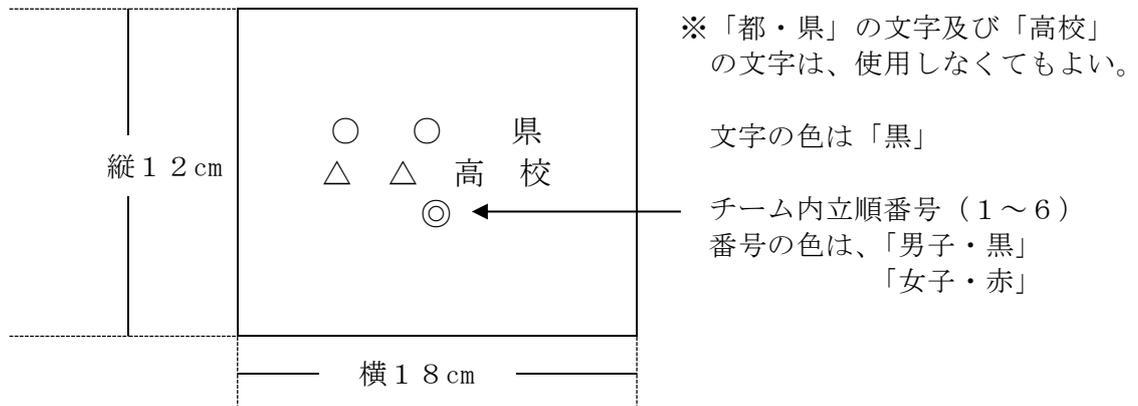
大会参加に際して提供される個人情報は本大会に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。(詳しくは、「関東高等学校体育大会参加における個人情報及び肖像権に関わる取扱について」を参照ください。)

15 宿 泊

- (1) 宿舎は、甲府市、笛吹市、南アルプス市、中央市を基本とする。
- (2) 料金は、1泊3食で以下のとおりとする。
A 15, 380円 内税(昼食代880円内税)
B 13, 880円 内税(昼食代880円内税)
C 13, 380円 内税(昼食代880円内税)
D 12, 280円 内税(昼食代880円内税)
- (3) 宿泊および弁当の申込みについては、別紙宿泊要項を参照のこと
- (4) 選手、監督、役員等の宿泊は、必ず宿泊申込要項に従って、申し込まなければならない。また、宿泊決定通知後の大量取り消しはしないこと。また、宿泊決定通知後の追加希望については、受けられない場合がある。

16 注意事項

- (1) 予選の立順は令和7年2月の関東高等学校体育連盟弓道専門部委員長会議において、代理抽選のうえ決定する。
- (2) 監督会議には、監督または引率責任者が必ず出席すること。
- (3) 開会式までに受付を完了しない場合は棄権と見なす。
- (4) 団体競技において選手の交代は、申込書に記載した登録選手以外は認めない。選手の交代については2回認める。第3控に入るまでに、所定の用紙に記入し、監督が届け出ること。
- (5) 決勝トーナメントに出場する選手は、4ツ矢の他に同中競射のための矢を1本必ず用意すること。
- (6) 開会式における服装は、制服または弓道衣とする。
- (7) 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
- (8) ゼッケン
選手は、以下の要領でゼッケンを作成し、右腰前に安全ピンまたは紐で付けること。なお、個人競技のゼッケンは、主催者で用意する。
ア 布地は白色。都県名、学校名は黒色。
イ 団体競技の選手番号は、チーム内立順番号（1～6）とする。
ウ 男子選手番号は黒色で、女子選手番号は赤色とする。
エ 規格及び記載例



(9) 会場練習（公式練習）

6月6日（金）小瀬スポーツ公園武道館アリーナ

8：00 役員入場

8：15 開場

9：20～14：10 公式練習（アリーナ2射場12的）
（1回のみ）